

農林水産業・食品産業の現場の新たな作業安全対策に関する有識者会議（第1回）

（令和2年2月25日（火））

参考1 田中委員提出資料

(農林水産業・食品産業の現場の新たな作業安全対策に関する有識者会議)

味の素グループの労働安全衛生活動

味の素グループの概要

- 1) 創業: 1909年 うま味調味料「味の素®」発売開始
- 2) グループ規模: 世界35の国と地域 生産121工場(国内43、海外78)
 国内 従業員数: 約15,000人(内、パート社員等 約5,800人)
 国内 平均年齢: 約43歳
- 3) 製造形態: 多品種切替生産タイプと単品種連続生産タイプが混在
 食品事業: パート社員中心の生産体制
 混合・混練、成形・圧縮、充填・包装、搬送(コンベア)等の機械
 アミノ酸、医薬品事業: 3交替、連続運転中心、酸・アルカリ等の取扱い
 かくはん機付大容量タンク、圧力容器等の機械

労働安全衛生に関するグループポリシー

「労働安全衛生に関するグループポリシー」

私たちは、人間性尊重を基本とし、労働安全衛生を企業活動の最も重要な基盤のひとつとします。

- 1 私たちは、“安全はすべてに優先する”考え方にに基づき行動します。
- 2 私たちは、トップマネジメントのリーダーシップのもと、働く一人ひとりとともに健全な安全文化を醸成します。
- 3 私たちは、関係法令及び社内ルール等を順守します。
- 4 私たちは、労働安全衛生マネジメントシステムの考え方を基本として、危険源を特定・評価し必要な経営資源を投入することにより、そのリスク低減・除去を徹底します。
- 5 私たちは、非常事態を予防し発生時の被害を極小化するため、体制及び訓練の強化と対応の円滑化を図ります。

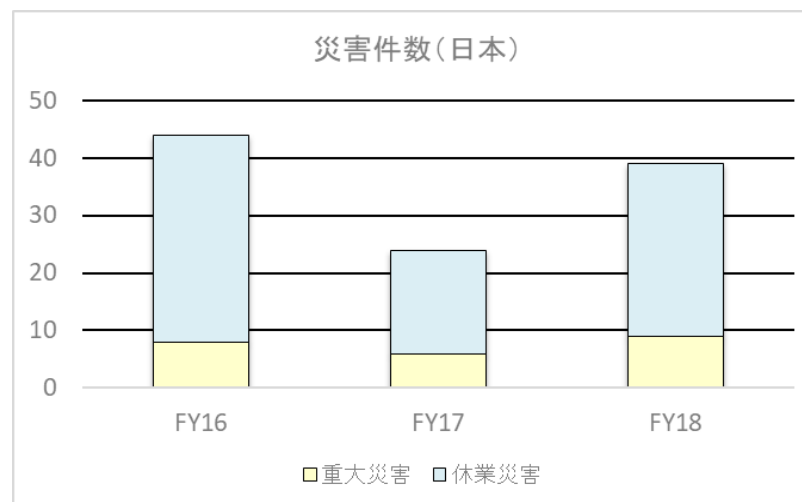
味の素グループの労働安全衛生活動

労働安全衛生の取組み

- 1) 各工場では、「労働安全衛生に関するグループポリシー」の下、労働安全衛生マネジメントシステムを基本ツールとして、労働安全衛生活動を実施。
- 2) 本社 環境・安全・基盤マネジメント部では、「労働安全衛生に関するグループポリシー」、「労働安全衛生計画(中期、年度)」等の国内外共通の安全衛生の方針、計画、各種ルールなどを策定。また、工場への安全監査、管理者を対象にしたマネジメント教育、各工場の人財教育の支援(教材等の提供)を実施。

災害実績

- 1) 日本での休業災害件数、年度で増減はあるが、数年“横ばい” (グラフ1)。更なる取組を推進。



(グラフ1)

味の素グループの労働安全衛生活動

労働安全衛生の具体的な取り組み事例

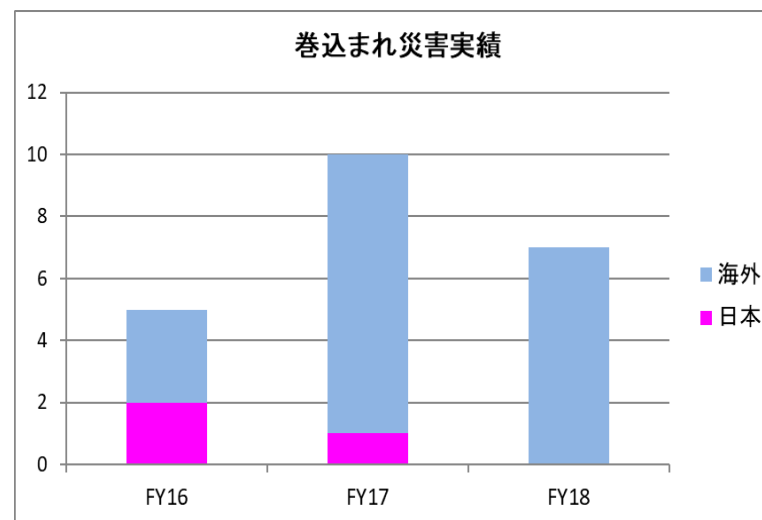
1) 機械への巻き込まれ災害の防止

- ①設備および作業（品種切替え洗浄作業、メンテナンス作業含む）の両面で危険箇所を洗い出し
- ②保護カバーの設置、作業の見直し等、ハードおよびソフト面で対策、機械の怖さを知る教育の実施（写真1）
- ③国内での休業災害“ゼロ”（2017年8月より継続）、海外に課題あり。（グラフ2）

（実機による巻き込まれ体感教育）



（写真1）



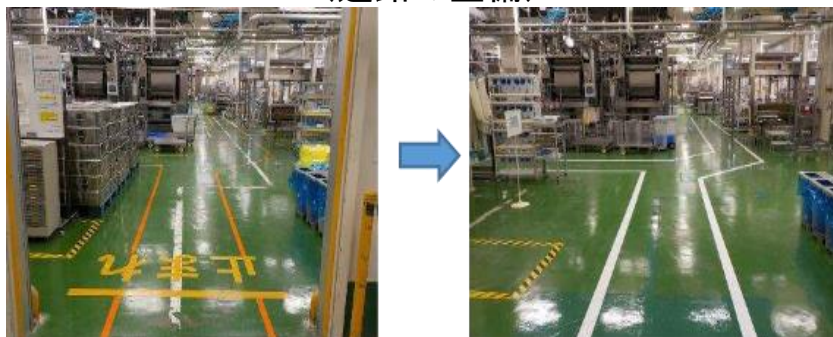
（グラフ2）

労働安全衛生の具体的な取組み事例

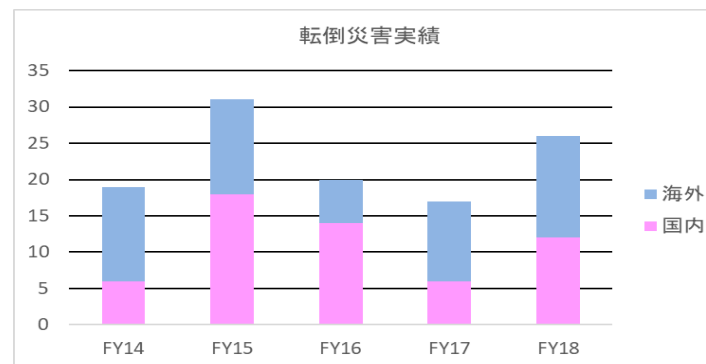
2) 転倒災害の防止

- ①設備面(通路の整備)、作業面、身体能力面(始業前体操)の観点で取組み(写真2)
- ②国内は、中期的には減少傾向も、海外は横ばい。グループで最も多い災害。(グラフ3)

(通路の整備)



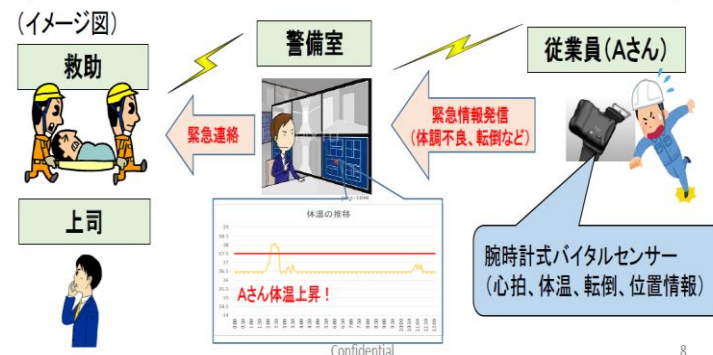
(写真2)



(グラフ3)

3) 迅速な非常時対応

- ①バイタルセンサーの導入: 従業員の高齢化、夜間少人数化への対応。心拍、対応、転倒、位置情報を把握し、異常を感知(図1)
今後、熱中症等にも展開可能。



(図1)

まだまだ課題は多い。人財育成、新たな仕組み導入などに取組中。